

昨年度実施の第5回“かさまつ いいね”写真展(主催:道徳のまち笠松)には、一般の部に49点、児童・生徒の部に35点の応募がありました。応募作品は、笠松の人の温かさや自然の素晴らしさといった笠松の良さが伝わるものばかりでした。この中から『いいね大賞』と『いいね賞』を7点選びました。

一般の部

『いいね大賞』「神事・茅の輪くぐり」可児 弘吉さん

『いいね賞』「駅伝日和」野原 啓司さん

「本番へむけて」樋口 史子さん

児童・生徒の部

『いいね大賞』「みんなで写真をとりあっこ」奥野 朔央さん

『いいね賞』「学校をもち上げたぞ」杉本 琉星さん

「赤いトンネル」三輪 日向子さん

「花と思い出の学校」長屋 陽菜さん

なお、5月14日から6月14日までは十六銀行笠松支店で、6月25日から7月19日までは大垣共立銀行笠松支店で入賞作品をはじめ主な応募作品を展示する予定です。



一般の部 『いいね大賞』作品



児童・生徒の部 『いいね大賞』作品

ちょっと実行

ずっと健康



みんなのヘルスケア

結核は過去の病気ではありません

結核は過去の病気と思いませんか?今でも、1日に約50人の新しい患者が発生し、6人が命を落としている日本の重大な感染症です。

かつて結核が国民病であった時代に感染した方が潜伏期間を経て、高齢化による免疫力低下に伴い発症するケースが多くみられ、平成29年に新たに結核と診断された方の約7割が60歳以上の方です。特に岐阜県の結核罹患率は全国で8番目に高く、また、80歳以上の高齢者がかかる割合は、全年齢層の平均の約5倍であり、検診などにより、早期発見・治療することが大切です。



【症状は?】

- タンのからむ咳が2週間以上続いている
  - 微熱・身体のだるさが2週間以上続いている
- ※高齢者の場合は症状が出ないことがあります。

【予防しましょう!】

健康的な生活が予防につながります。

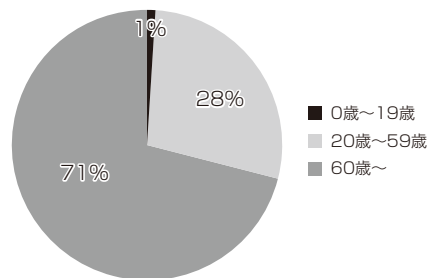
- 1.適度な運動
- 2.十分な睡眠
- 3.バランスのよい食事
- 4.定期的な検診で早期発見

【治せる病気?】

結核と診断されても、6~9か月間毎日きちんと薬を飲めば治ります。しかし、症状が消えたからといって、治療の途中で服薬を止めてしまうと完全に治らないため、きちんと服薬することが大切です。

結核検診は、個人の健康のためだけでなく、家族や社会への感染を防ぐため、症状がなくても毎年検診を受けましょう。

※町では、今月より結核住民検診を実施します。詳しくは、19ページをご覧ください。



平成29年 新規登録結核患者の年齢別分布